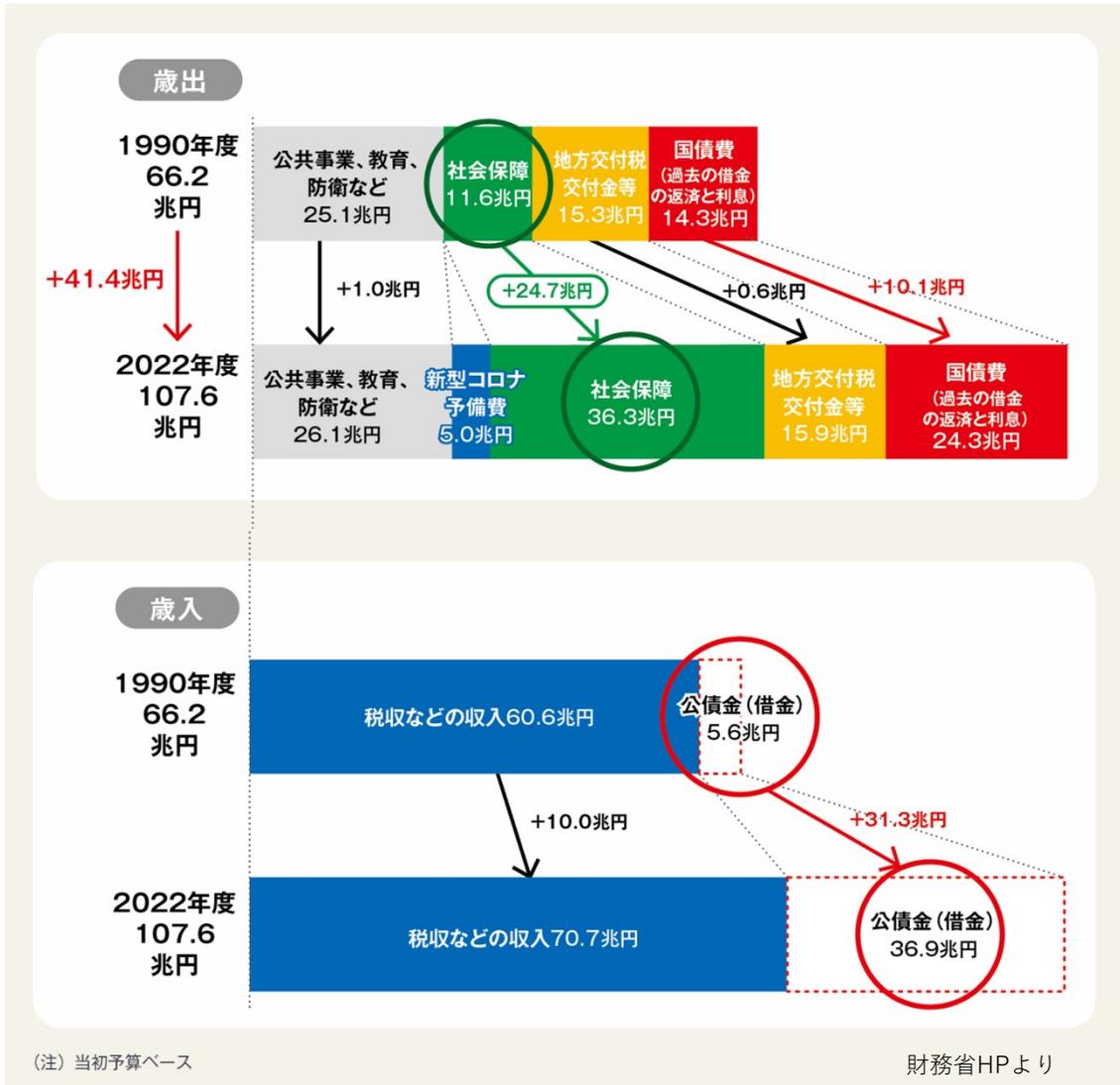


【社会課題】 増え続ける社会保障費とひっ迫する国の財政

- 1990年から2022年までの32年間で、国が負担する社会保障費は11.6兆円から36.3兆円と、24.7兆円も増えています。
- 一方で、税金などの収入は10.0兆円しか増えていません。
- 不足分は借金で賄われており、日本の財政赤字は年々、増え続けています。GDPに対する国の債務残高は先進国の中で突出しています。
- 社会保障費の大きな一部である医療費も年々増え続けています。



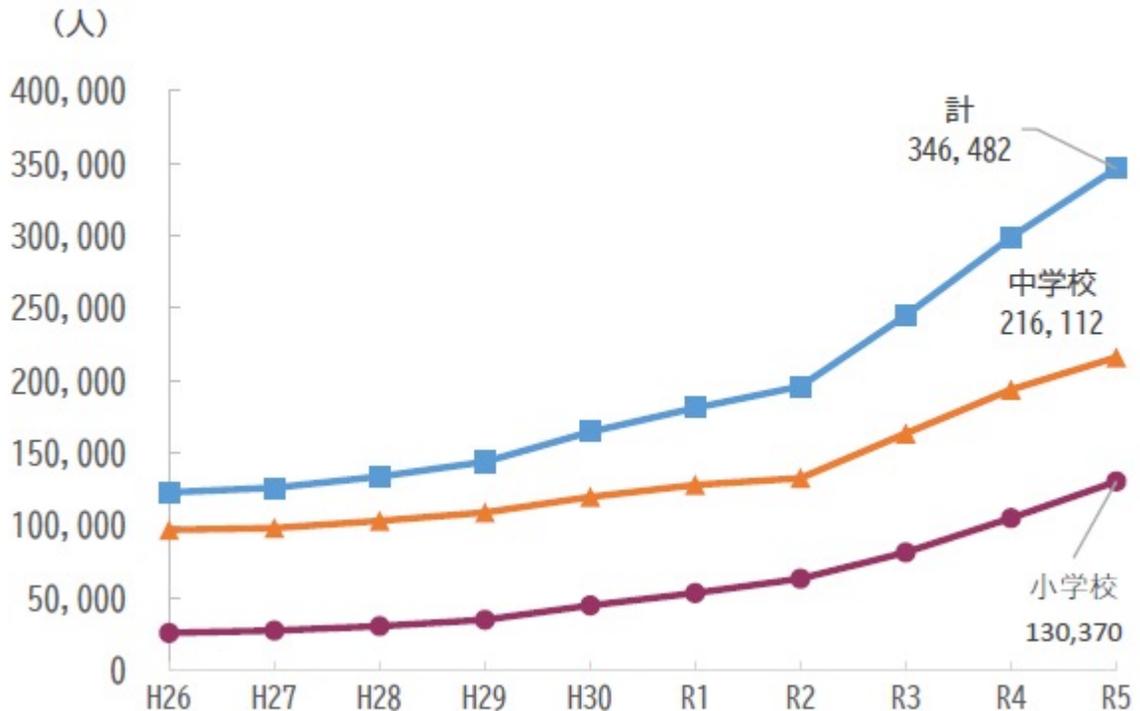
【原因】

- 日本は世界で有数の高齢化社会であり、高齢者は医療サービスを多く利用するため、医療費の増加に大きく影響します。特に、団塊の世代が後期高齢者となるにつれて、医療費の増加は加速すると予想されています。
- 高血圧、糖尿病などの生活習慣病は、医療費を増加させる主要な要因です。これらの疾患は、長期にわたる治療や管理が必要となるため、医療費の負担を大きくします。
- 健康寿命とは、日常生活に制限のない、健康な状態でいられる期間のことです。厚生労働省によると、2022年の日本の健康寿命は男性72.57歳、女性75.45歳。平均寿命との差は、男性で約8.5年、女性で約11.6年あります。医療費を削減するためには、健康的な生活習慣によって、健康寿命を延ばす必要があります。
- 新しい診断法や治療法の開発は、医療の質を向上させる一方で、高額な医療機器や新薬の使用を増加させ、医療費を押し上げる要因となります。例えば、一部のがん治療薬や遺伝子治療薬は非常に高額です。
- 日本の医療費における薬剤費の割合は、他の先進国と比較しても高い傾向にあります。これは、薬剤の価格が高いことや、使用量が多いことが原因として挙げられます。

【社会課題】不登校児童の増加

- 令和5年度の調査によると、小・中学校における長期欠席者のうち、不登校児童生徒数は346,482人（前年度299,048人）であり、不登校児童生徒数は11年連続で増加し、過去最多となっています。
- 不登校児童生徒のうち90日以上欠席した者は190,392人（55.0%）でした。

不登校児童生徒数の推移



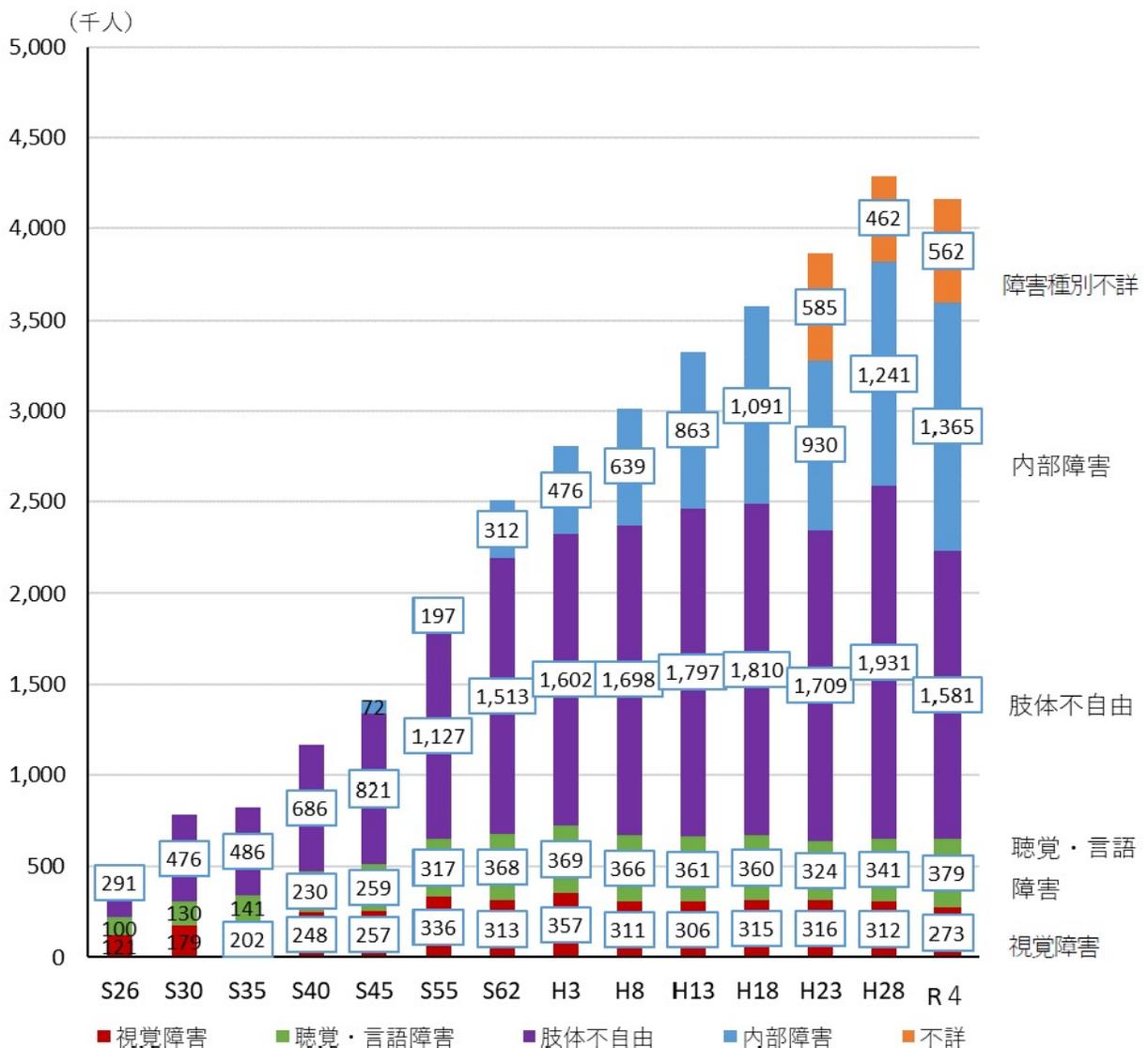
文部科学省『児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要』より

【原因】

- 学業や学校生活のストレス：成績不振やクラスの間関係、いじめなどによる精神的な負担が原因となることがあります。
- 家庭環境の問題：家庭内のトラブルや親子関係の不和、家庭の経済状況の変化などが影響する場合があります。
- 精神的・心理的な問題：不安障害やうつ病、適応障害などの精神的な健康問題が原因となることもあります。
- 身体的な健康問題：慢性的な病気や体調不良が原因で登校を避けるケースもあります。
- 学校の環境や教育方針への不満：学校の教育内容や教師との相性、校風などに合わないと感じることも影響します。
- いじめや孤立：いじめや孤立感が原因で登校を拒むケースも多く見られます。
- 以上の原因は複合的に絡み合っていることも多く、不登校になってしまう原因は一人ひとりの背景や状況によって異なります。

【社会課題】障がい者の方々の生活のしづらさ

- 令和4年度の調査によると、障がい者手帳の所持者は610万人であった。
- 障がい者手帳を有していなくても「日常生活を送る上での生活のしづらさがある」と答えたものは114万人であった。
- 日常生活のしづらさに関するアンケート結果によると、「自分ではできない（要全介助）」と「手伝ってもらえればできる（要一部介助）」の合計比率は、「食事をする」6.7%、「衣服を着たり脱いだりする」13.0%、「排泄をする」10.4%、「入浴をする」19.1%、「買い物をする」28.6%と、日常生活において支援を必要としている人は大勢いる。



厚生労働省『令和4年生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）結果の概要』より

【原因】

上記調査結果によると、障がいを持つ方々からは以下のような支援やサービス等が求められています（比率は望む人の割合）。つまり、以下のような支援やサービスが十分でないため、「生活のしづらさ」を感じている障がい者が多いということになります。

- 障がい者への理解を深めるための教育・機会の充実：8.5%
- 障がいをもつ人の権利や人権を守るための支援：9.0%
- 外出・移動の支援：15.7%
- スポーツ、レクリエーション、文化活動に対する援助：4.0%
- 地域の人々との交流機会の拡大：4.0%
- 道路、交通機関、公共施設等を利用しやすくすること（バリアフリー等）：14.6%
- 障がいに配慮した情報媒体の充実（点字図書、録音図書、手話放送、字幕放送、ルビ、電子図書等）：1.1%

【社会課題】 開発途上国における教育格差

- 国連では、開発途上国の中でも特に開発が遅れている国として、世界で44か国が後発開発途上国に認定されています。
- アジアではカンボジアやバングラデシュなど8か国、アフリカはニジェールなど32か国が認定されています。
- 後発開発途上国では、経済的な貧困のみならず、教育の貧困も課題になっています。
- ユニセフの「世界子供白書2024」によると、小学校を修了した率は、カンボジア82%、バングラデシュ83%、ニジェールは26%しかいません。
(※日本は記載されていませんが、ほぼ100%と思われます)
- 高校の修了率はカンボジア、バングラデシュ共に30%以下で、ニジェールでは2%しかいません。
- 学習貧困率とは、「10歳までに、基本的な文章を読んで理解することができない子どもの割合」で、バングラデシュは51%、カンボジアとニジェールは90%以上になっています。

国名	修了率			学習貧困率		
	初等教育 (小学校)	前期中等教育 (中学校)	後期中等教育 (高等学校)	全体	男	女
日本	—	—	—	4%	5%	3%
カンボジア	82%	56%	27%	90%	93%	87%
バングラデシュ	83%	65%	29%	51%	54%	49%
ニジェール	26%	5%	2%	90%	91%	100%

ユニセフ『世界子供白書2024』の統計結果より当会にて抜粋

【原因】

- 開発途上国では、学校の教室が圧倒的に不足しており、午前と午後で学園を分ける二部授業や三部授業が行われており、学校での学習時間が短い場合があります。
- 図書室のない学校も多いです。
- 教員の数も足りず、複数の学年を同時に授業する学校も少なくなく、また、教員資格を持たない者が授業をするなど、授業の質が確保できていません。
- 屋根や壁がトタンで乾季は暑さで授業ができなかったり、屋根や壁が穴だらけで雨期には授業ができない学校もあります。
- 親が農家などの場合、畑仕事などの親の手伝いで学校に行かせてもらえない子がいます。
- 社会的地位や給料の低さから、教師を目指す人が少ない国もあります。
- 貧困で満足な食事ができず、やせ細って学校にも通えない子どももいます。

【社会課題】 開発途上国における幼少期の高い死亡率

- 国連では、開発途上国の中でも特に開発が遅れている国として、世界で44か国が後発開発途上国に認定されています。
- アジアではカンボジアやバングラデシュなど8か国、アフリカはニジェールなど32か国が認定されています。
- 後発開発途上国では、経済的な貧困のみならず、教育の貧困も課題になっています。
- ユニセフの「世界子供白書2024」によると、新生児死亡率（生後28日以内）、乳児死亡率（1歳まで）、5歳未満死亡率を、1,000人当たりで示したものです。
- カンボジアやバングラデシュは、1990年から2022年にかけて、死亡率は大きく減少（改善）されていますが、日本と比べると10倍以上の死亡率になっています。
- アフリカのニジェールでは、カンボジアやバングラデシュよりもさらに高い死亡率となっています。

国名	新生児死亡率			乳児死亡率		5歳未満児死亡率		
	1990	2000	2022	1990	2022	1990	2000	2022
日本	3	2	1	5	2	6	5	2
カンボジア	41	35	12	85	20	116	106	24
バングラデシュ	66	44	17	101	24	146	86	29
ニジェール	55	44	34	134	60	332	228	117

ユニセフ『世界子供白書2024』の統計結果より当会にて抜粋

【原因】

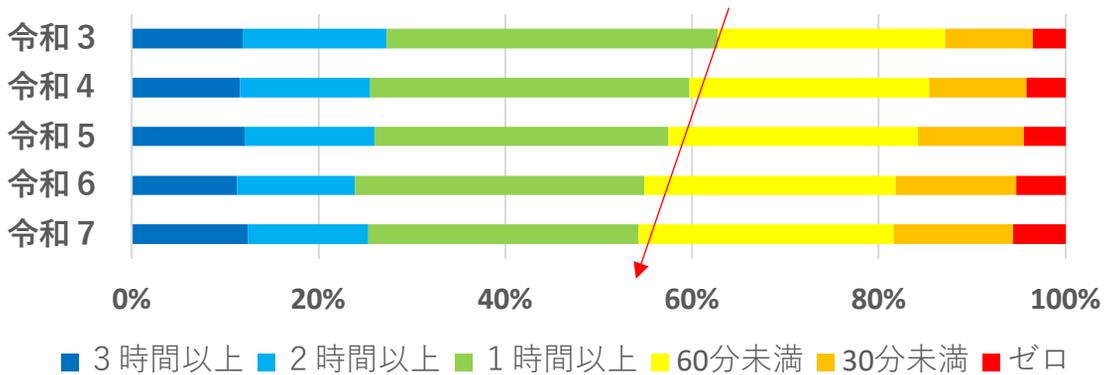
開発途上国で5歳児未満の死亡率が高い理由としては、以下のような要因が複合的に絡み合っています。

- 医療アクセスの不足：医療施設や医師、看護師が不足しているため、妊産婦や子どもが適切な治療を受けられないことがあります。
- 栄養不足：十分な栄養が摂れていないため、免疫力が低下し、感染症や病気にかかりやすくなります。
- 感染症の蔓延：マラリア、下痢、肺炎などの感染症が多く発生し、これらが子どもたちの死亡原因となっています。
- 衛生環境の劣悪さ：清潔な水や衛生的な生活環境が整っていないため、感染症のリスクが高いです。
- 母子保健の不足：妊娠や出産に関する医療やサポートが十分でないため、出生時や妊娠中の死亡リスクが高まります。

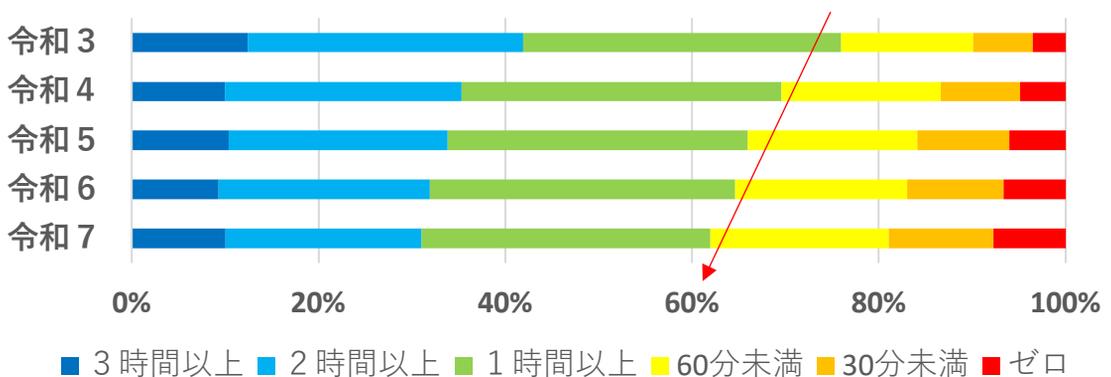
【社会課題】生徒の学習時間・学習意欲の低下

- 文部科学省・国立教育政策研究所『令和7年度全国学力・学習状況調査の結果公表①のポイント』によると、小学生・中学生ともに、平日における学校の授業時間以外の勉強時間は、令和3年から年々、減少傾向にあります。
- これは、休日も同じ傾向です。

小学生の平日における学校の授業時間以外の勉強時間



中学生の平日における学校の授業時間以外の勉強時間



文部科学省・国立教育政策研究所『令和7年度全国学力・学習状況調査の結果公表①のポイント』のデータより当会にてグラフ作成

【原因】

学校の授業以外での勉強時間が低下していることは、学習意欲の低下ともいえます。学習意欲低下には、様々な原因が考えられます。

- 「なぜ勉強するのか」「何の役立つのか」という疑問を解決できず、学習の必要性を見いだせない。これには保護者の価値観も影響します。
- 学校や塾の授業やテスト問題が難し過ぎると、達成感を得られず「どうせできない」と挑戦意欲を失います。
- 学校の画一的な授業やレベル設定が、生徒の「楽しい」という感情を阻害し、学習意欲低下を招くことがあります。
- 保護者や教師からの「勉強しなさい」という一方的な指示や過度な期待により、「自分で決めた」という自己決定感、「自分ができる」という自己有能感、周囲から受け入れられているという他者受容感が損なわれ、勉強意欲を失います。
- ゲームやSNSなど、スマホの使用時間が著しく増え、生徒の学習意欲低下に影響を与えます。
- 睡眠不足、不規則な食事、運動不足といった生活習慣の乱れは、集中力や思考力が低下し、生徒の学習意欲の低下につながります。

【社会課題】 開発途上国の障がい者へのサポート不足

- 国連の広報センターのホームページには、「およそ10億の人々が、何らかの形の身体的、精神的もしくは感覚的な障害に苦しんでいる。それは世界人口のおよそ15パーセントにあたる。障害者のおよそ80パーセントの人々は開発途上国に住んでいる」とあります。
- ユニセフが2018年に公表した、49カ国の障害者の教育について比較したレポート「教育と障害者 (Education and Disability)」によると、カンボジアでは障害のある児童の不就学率は57% (2人に1人以上が学校に行けていない) であるのに対し、その他の児童の不就学率は7% (14人に1人) と、50ポイント以上もの差がありました。
- また、同レポートによると、15歳以上の成人の識字率は、インドネシアでは障害のない成人の大多数 (93%) が基本的な識字能力を有しているのに対し、障害のある成人ではわずか半分 (52%) にとどまっています。イランでも大きな差が見られ、障害のない人の識字率は80%であるのに対し、障害のある人の識字率は49%でした。ベトナムでは、障害のない人の成人識字率は94%と高いのに対し、障害のある人の識字率は59%でした。障害の有無が、大きな教育格差を生んでいます。



ユネスコ『What we know (and the great deal we don't) about education and disability (教育と障害について私たちが知っていること (そして知らないこと))』より

【原因】

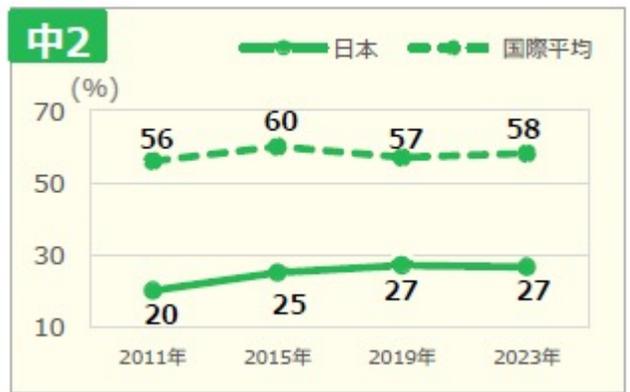
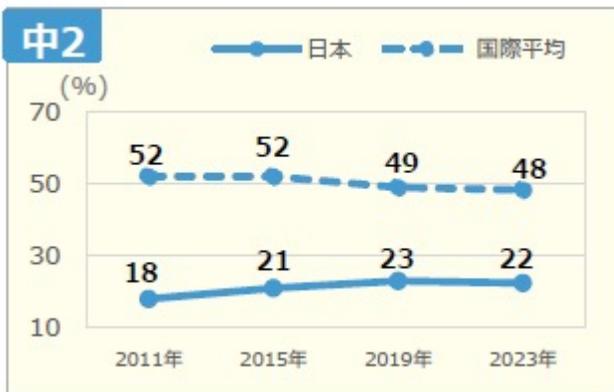
- 開発途上国では、医療施設や医師が不足しているため、事故にあったり病気になった場合に迅速で適切な処置が行われず、大きな後遺症が残ってしまうことが少なくなく、障がい者の比率が高くなっています。
- 日本や先進国では、障がい者の方が利用できる治療やケアサービス、義肢装具の保険適用など各種サポート制度がありますが、開発途上国ではそのような制度が不十分で、障がい者は適切な治療、ケア、サポートを受けることができていません。
- 身体的欠損を補うための医療器具である義肢装具は非常に高価であり、開発途上国の貧困世帯にはそれらを入手することができません。
- また、開発途上国では、義肢装具を製造・メンテナンス・リハビリ指導できる医療従事者や技術者も不足しています。
- 障害者に対する各種サポート不足、制度不足、技術者不足によって、障がい者は教育や就労などの社会参加の機会を奪われています。

【社会課題】若者の理数離れ・科学離れ

- かつて日本は自動車や電気製品などの製品の開発・生産・輸出を通じて「技術立国」として世界的に高く評価されていました。
- しかし、最近では日本において若者の理数離れ、科学離れが叫ばれています。
- 国際教育到達度評価学会（IEA）が、各国の小学4年生と中学2年生に対して行っている「算数・数学及び理科の教育到達度の調査結果」によると、2023年の調査結果では、小学4年生は算数が58か国中5位、理科が6位、中学2年生は数学が44か国中4位、理科が3位と、世界トップレベルにあります。
- 一方で、以下の図にあるように、中学2年生「数学・理科を使うことが含まれる職業につきたい」というアンケートに対して「強くそう思う」「そう思う」と回答した生徒の割合は、国際平均の半数以下と、日本の若者の理数離れ・科学離れを裏付ける結果が出ています。

数学を使うことが含まれる職業につきたい

理科を使うことが含まれる職業につきたい



文部科学省・国立教育政策研究所『IEA国際数学・理科教育動向調査 TIMSS2023の結果（概要）』より

【原因】

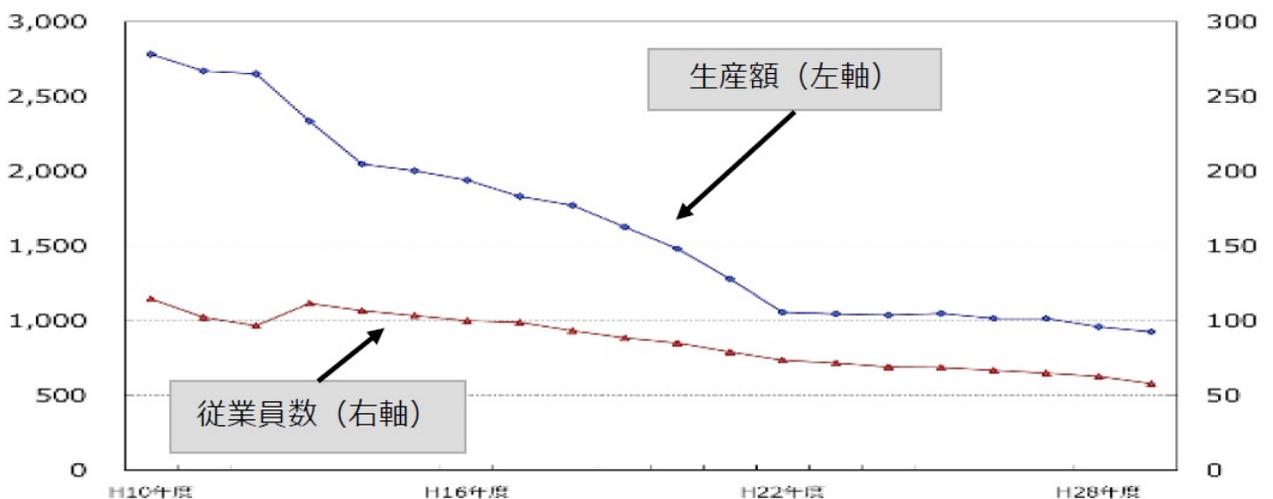
若者の理数離れや科学離れには、以下のような原因が考えられます。

- 教育環境の課題：理科や数学の授業を退屈に感じたり、実験や体験学習の機会の不足により、関心や理解が深まりにくい生徒がいる。
- 教員の指導力や資源不足：理科や数学を教える教員の指導力不足により、学習意欲が低下してしまった生徒がいる。
- 学習の難しさとイメージの偏り：理数系科目が難しいと実際に感じる生徒も少なくなく、「理系は難しい」「理系はつまらない」という偏見やイメージも敬遠される原因となっています。
- 進路選択の多様化と価値観の変化：多様なキャリアや価値観の中で、理系よりも文系や他の分野に魅力を感じる若者が増え、理数系の進学や関心が薄れる傾向があります。
- 情報技術の変化と関心の移行：ゲームやSNS、エンターテインメントに関心が集中し、科学や技術に対する関心が相対的に低下していることも影響しています。
- 科学リテラシーの不足と理解の難しさ：科学的な知識や思考力が十分に身につかず、科学の面白さや重要性を理解しにくい状況もあります。
- 社会的・経済的背景：経済的な不安や社会の変化により、将来の安定や成功を求めて、理数系よりも他の分野を志望する傾向もあります。

【社会課題】伝統工芸の衰退

- 日本各地には、地域独自の伝統工芸品がたくさんあります。
- 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会によりますと、経済産業大臣の指定を受けた伝統的工芸品は、現在241品目を数え、長い歴史を経てなお全国各地で高度な技術、技法により作られ、今日まで使い続けられてきたとのこと。
- しかし、以下のグラフを見てわかる通り、伝統工芸品の生産額は年々減少しており、従業員数も同様に年々減少しています。
- 伝統工芸品の衰退は、地方経済にも深刻な影響を与えています。

図表：伝統的工芸品の生産額・従業員数の推移



資料) 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会調べ

経済産業省『伝統的工芸品産業の自立化に向けたガイドブック (令和4年5月)』より

【原因】

伝統工芸品の衰退は、以下のような要因が複合的に絡み合っています。

- 後継者不足と技術継承の難しさ：伝統工芸の技術を次世代に伝える若い職人が減少し、高齢化が進んでいます。技術を習得できる環境や支援が不足していることも影響しています。
- 市場の縮小と価格競争：大量生産品や安価な輸入品との競争により、伝統工芸品の価格競争力が低下しています。消費者のニーズも変化し、高価な手作り品の需要が減少しています。
- 需要の変化とライフスタイルの変化：現代の生活スタイルや価値観の変化により、伝統工芸品の実用性や魅力が伝わりにくくなっています。若い世代を中心に、伝統的なものへの関心が薄れている傾向もあります。
- 観光客や海外市場の未開拓：地域によっては観光客が減少したり、海外市場への販路拡大が十分でないため、収益源が限定的です。特に海外での認知度や需要の拡大が課題です。
- 資金不足と経営難：小規模な工房や職人の資金不足、経営の安定性の欠如も衰退の一因です。支援策や補助金の不足も影響しています。
- 文化継承と教育の不足：学校教育や地域の伝統文化継承活動が十分でなく、次世代への文化伝承が滞っています。
- 行政や支援体制の課題：伝統工芸品の振興策や支援体制が十分でない場合もあり、産業としての持続性に課題があります。

【社会課題】能登半島地震からの産業復興

(1) 伝統工芸

- 2024年1月1日に、能登半島地震が発生しました。震源地は日本の石川県の能登半島地下16 kmで、地震の規模はM7.6、輪島市と羽咋郡志賀町で最大震度7を観測しました。
- 伝統産業の輪島塗は、火災に伴い朝市通りに所在する12業者の仕事場が焼失したほか、ほぼすべての工房・事務所が全壊・半壊など甚大な被害を受けました。
- 珠洲市の伝統工芸である珠洲焼の製造に使われる窯も、市外にある窯を含め20か所全てが被害を受け、市内にある18か所は全てが全壊しました。
- 九谷焼では、小松市・能美町などにある63の事業者のうち、調査に回答した26の事業者全てが地震による被害を受けました。九谷焼への自然災害による被害としては過去最も甚大なものとなり、100万円以上の商品が割れたり一つの店で250万円以上の損害を出した事業者もあり、その被害総額は5000万円を超え、被害件数は合計1000件を超えました。

(2) 観光

- 七尾市の和倉温泉は、建物などに大きな被害を受け、全ての旅館が休業し、現在も営業再開できない旅館があります。
- 石川県輪島市の「朝市通り」周辺では大規模な火災により焼け野原となりました。1300年の歴史を誇る、日本三大朝市の一つで、輪島市の観光客誘致の目玉となりました。

(3) 漁業

- 石川県内の60か所の漁港に被害が出ており、被害を受けた漁船の数は少なくとも233隻に上り、転覆または沈没したものが146隻、流失したものが27隻でした。広い範囲で地盤が数メートル隆起したため、外浦海域の21の漁港で海底が露出したり水深が不足しました。輪島市門前町の黒島漁港では、地盤の隆起に伴い漁港内が陸地となったため、漁船の出航ができないう状態になりました。

(4) 農業

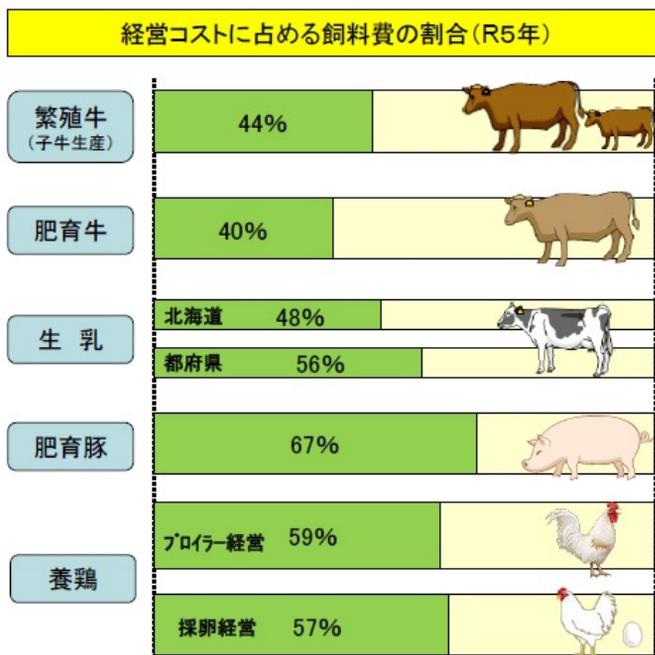
- 石川県では、農地761件、農道841件、水路1145件など合計3363件の被害が確認されており、そのうち奥能登が珠洲市で268件、能登町で188件輪島市で70件など7割を占め、石川県内での農業の総被害額は630億円になりました。

【原因】

- 原因はもちろん、地震そのものにあります。地震に対する日ごろからの備えは重要ではありますが、経済的制約（建物や設備の耐震性を高めたくても費用を捻出できない）、時間的制約（忙しくて余裕がない）、物理的制約（建物が密集しすぎて火災の延焼対策を打てない）といった様々な制約から、備えにも限界があります。
- 伝統工芸、観光、漁業、農業など、“能登地方を支えてきた産業の復興支援”として、私たちができることを考えてみましょう。

【社会課題】畜産飼料の価格の高騰

- 飼料費が、牛肉、豚肉、鶏肉、牛乳などの畜産農家の経営コストに占める割合は高く、牛で4～6割、豚・鶏で6～7割にもなります。
- 畜産における飼料は、粗飼料と濃厚飼料に大別されます。粗飼料は、牧草やわら、乾草など、家畜の主食となるもので、繊維質を多く含み、家畜の健康維持に不可欠です。一方、濃厚飼料は、トウモロコシや大豆などを粉末状や圧ぺん加工したもので、タンパク質や炭水化物を多く含み、筋肉や脂肪の形成を助けます
- 濃厚飼料のトウモロコシや大豆などは、海外からの輸入が占める割合が多く、価格が高騰しています。
- 飼料自給率は30%を切っており、食糧安全保障の観点から飼料自給率の向上が求められています。



近年の飼料自給率の推移

年度	H17	H22	H27	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5 (概算)
全 体	25%	25%	28%	26%	25%	25%	25%	26%	26%	27%

農林水産省畜産局資料課『飼料をめぐる情勢 (平成7年6月)』より

【原因】

畜産の飼料価格が高騰している主な理由は、以下のような複合的な要因によります。

- 原材料の価格上昇：トウモロコシや大豆などの主要な飼料原料の国際的な価格が上昇しています。これには、気候変動や天候不順、作付面積の減少などが影響しています。世界有数の穀倉地帯であるウクライナで、ロシアの侵攻により穀物の収穫量が大幅に減少したことも大きな原因の一つです。
- 気候変動と異常気象：干ばつや洪水などの異常気象により、農作物の収穫量が減少し、原料供給が逼迫しています。特に、アメリカやブラジルなどの主要生産国での気象状況が影響しています。
- 輸送コストの増加：燃料価格の高騰や物流の混乱により、輸送コストが上昇しています。これが飼料の輸入や国内流通コストに反映されています。
- 為替レートの変動：円安やドル高などの為替変動により、輸入飼料のコストが増加しています。特に輸入依存度が高い場合、影響は大きくなります。
- 世界的な需要増加：アジアを中心に肉や乳製品の需要が増加しており、飼料原料の需要も高まっています。これにより、価格が押し上げられています。

【社会課題】オストメイト（ストーマ装着者）の悩み

- オストメイトとは、病気や事故などで、人工的に作られた便や尿の排泄口（ストーマ）を持つ人のことです。ストーマは、人工肛門や人工膀胱を指し、これを持つ人をオストメイトと呼びます。



ストーマの場所はお腹の右側、左側、左右両方など、人によって違います。

厚生労働省『オストメイトの入浴Q & A』より

- オストメイトはストーマ用装具を装着することによって、積極的に社会参加をすることができますが、外見ではわかりづらい内部障害であるため、社会的な理解が十分に進んでいない部分があります。障害のある人の行動や社会参加を阻んでいるのは、物理面のバリア（障壁）に加え、周囲の人の偏見や差別意識といった心理面のバリアです。
- オストメイトの悩みは多岐にわたりますが、主なものとしては、ストーマ装具の漏れや臭い、皮膚トラブル、装具の費用、そして社会生活における困りごとなどが挙げられます。
- 特に若い女性オストメイトは、結婚や妊娠、出産、旅行などライフイベントにおける悩みも抱えやすいです

困った経験 日常生活(複数選択) 人数 =839



NPO法人ストーマ・イメージアップ・プロジェクト『ストーマ保有者の困った経験の実態調査報告書 あなたに知ってほしい ストーマとともに生きること』（2015年）より
株式会社 共和 メディカルグループ『skinix ホームページ』より

【原因】

- 原因は病気そのものにより、本人には何の落ち度もありません。
- オストメイト（ストーマ装着者）に限らず、病気や怪我の後遺症により、人知れず社会生活を営む中で、悩みを抱えたり、不便を感じている方々が多くいらっしゃいます。そういう方々に対して、私たちができることは何か、考えてみましょう。